

会 議 録

会議の名称	令和3年度第2回茨木市産業振興アクションプラン推進委員会 補助金審査部会（地域魅力アップイベント創出育成事業）
開催日時	令和3年8月25日（水） （午前・ 午後 ） 1 時 00 分 開会 （午前・ 午後 ） 2 時 30 分 閉会
開催場所	福祉文化会館 303号室
議長	野口 義文 氏（立命館大学産学官連携戦略本部）
出席者	野口義文氏（立命館大学 産学官連携戦略本部）、伊津田崇氏（中小企業診断士）、辻田素子氏（龍谷大学 経済学部）、森本康嗣氏（公募市民） 【4人】
欠席者	前川哲司氏（北おおさか信用金庫 業務推進部）
事務局職員	河原商工労政課長、武部商工労政課長代理兼商工振興係長、 上山商工労政課職員 【3人】
開催形態	一部非公開
議題（案件）	(1) 会議の公開について (2) 茨木市地域魅力アップイベント創出育成事業及び茨木市産業活性化プロジェクト促進事業補助金趣旨説明 (3) 応募団体プレゼンテーション及び審査
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 茨木市地域魅力アップイベント創出育成事業補助金募集要領 ・資料2 茨木市地域魅力アップイベント創出育成事業補助金の選考について ・資料3 茨木市地域魅力アップイベント創出育成事業補助金 審査基準及び配点表

議事の経過

1 開会

事務局：(開会のあいさつ)

2 趣旨説明

事務局：(資料1～6説明)

3 会議の公開について

事務局：①本部会について

原則公開とし、市民等の傍聴を認める。ただし、申請案件の審査に関する部分は、非公開とする。(※茨木市審議会等の会議の公開に関する指針第3より)

②議事録について

公開部分については、市のホームページ等で公開する。ただし、内容は要約したものとし、個々の発言者の名前は記載しない。

③傍聴希望者：なし

4 応募団体プレゼンテーション及び審査

(1) 地域魅力アップイベント創出育成事業申請案件：

1件目のいばりピック実行委員会(以下申請者)から、事業概要及びアピールポイント等についてプレゼンテーションがあり、その後質疑応答があった。

<質疑応答>

A委員：前回からどのような部分を変更したのか。

申請者：前は市民の健康増進に重点をおいていたが、今回は市内外からの誘客や魅力増進、市のPRに重点を置いた。

B委員：市内外からの誘客を図るという事だが、集め方や予算配分は。

申請者：チラシの市内ポスティングによる広報や北摂地域のフリーペーパーへの掲載を予定している。ただこれらは10月以降に予定をしているため、参加者の募集ではなく、開催案内という形になる。

B委員：開催人数を1,000人としているが、市内外の内訳や、チラシやフリーペーパーでいくら集客するかは目論んでいるか。

申請者：運動会の参加者で200名、その見学として200名、市内から300名、市外から300名を予定している。市外からの誘客はフリーペーパーで行おうと考えている。

B委員：事業の効果にある商店、商業の連携やPRはどのように行うのか。

申請者：今年度については企業の出展ブースを構えたり、市内飲食店に出店してもらったりして、PRしていただく予定をしている。また今後市内でマラソンを実施する際は、ルートに飲食店を組み込み、見学しに来た方に休憩してもらえるようにする。

C委員：事業の現在の進捗は。

申請者：会場については、所管課と調整し仮押さえが出来ている状態。協賛については、まだ着手できておらず、9月上旬までに準備をして、9月中旬にお願いをしたい

と考えている。

C委員：このコロナ禍の状況で事業を実施する意義は。

申請者：今まで茨木市を盛り上げるために活動をしてきたが、コロナで状況が一変したことが残念に感じている。コロナだからという理由で諦めるのではなく、むしろコロナ禍の今だからこそ新しいことにチャレンジし、分断されてしまった人々の関係の再構築が出来ればと考えている。

D委員：イベント当日に緊急事態宣言が発令されていたらどうするのか。実施か中止かのガイドラインは作成しているのか。

申請者：その場合イベントの実施は難しいと思うが、その判断をする具体的なガイドラインは作成していない。

A委員：オリンピックを意識した名前になっているが、実際は大運動会のような内容で、名前と内容が若干乖離しているような気がする。どちらかというとも内容より事業の実施に重きを置いているのか。

申請者：そう考えている。今回はコロナ禍という事もあり、レクリエーション的な要素を多く取り込んだ内容にしている。今後は記録に挑む大会のような形式も検討している。

(2) 地域魅力アップイベント創出育成事業申請案件：

2件目のレクリエーションデザイン smileinfeel（以下申請者）から、事業概要及びアピールポイント等についてプレゼンテーションがあり、その後質疑応答があった。

<質疑応答>

A委員：前回からどのような部分を変更したのか。

申請者：5月に実施予定であったが、コロナで10月に延期になったため、SNSで過去の写真や映像をアップし、新規のファンを増やすための活動を行った。

B委員：参加者4,000人はどのような媒体で誘客しようと考えているのか。

申請者：Webでの広報のほかに、チラシを市内の公共施設等に配架してもらい、誘客出来ればと考えている。

B委員：ピークタイムはいつ頃で、最大何人ほど来られる予定なのか。

申請者：昨年プレ実施した際は、17～19時頃で800人程度来ていただいたと聞いているため、今回も同時間帯に人が多くなるのではないかと考えている。人数としては1,500人を目指したい。

B委員：社会実験とはどういうものなのか。

申請者：これは公園を所管する公園緑地課との調整の中で聞いているが、公園内にある大きな広場の色々な活用方法を実験的に試行するものと認識している。

B委員：経済効果について、近隣店舗の出店はもう決まっているのか。

申請者：近隣の和菓子屋さんや、パン屋さんが出店が決まっている。

B委員：団体としての決算はしているのか、それともイベントごとの都度決算なのか。

申請者：イベントごとの都度決算をしている。

C委員：協賛金はどれくらい集まっており、どのような人が協賛しているのか。

申請者：コロナの状況もあり、積極的に声掛けは出来ていない。いくつかの会社さんです
で協賛いただいているところもあるが、足りない分についてはクラウドファン
ディング等での資金集めも検討している。

C委員：楽器のレンタルについて、イベントが中止になった場合のキャンセル料はどうな
っているのか。

申請者：依頼先のご厚意で、キャンセル料は支払わなくていいと言われている。

C委員：演奏する「ジャジーズ」は団体のメンバーか、それとも外部の方か。

申請者：団体、外部の両方の方がメンバーに入っている。

D委員：前回との違いをもう少し具体的に説明してほしい。

申請者：演奏を行う「ジャジーズ」は、エキスポシティやイオンモール茨木での演奏経験
があるバンドで、お子様からシニアまで楽しめる。そのバンドに今回は参加して
もらうことにより非常に見ごたえのあるイベントに仕上がっている。また空間演
出をしてもらう「luna」は、民放報道番組内のセットでフラワーアレンジメント
を担当しているほか、音響や照明は茨木フェスティバルにも関わっている市内の
プロの業者さんに依頼をしており、非常にエンターテインメント性の高いイベン
トになっている。さらにイベントの資金については、5月に実施予定だったが、
中止になってしまったイベントのチラシを活用してタンブラーを作成したため、
募金をいただいた方へのお返しとしたり、空間演出に使用する「luna」のキャン
ドルをイベントの最後では販売したりすることによって、イベントの売上に加え
たいと計画をしている。

D委員：現在のコロナの状況が続いた場合どうするのか。雨天の場合は。

申請者：この状況が続くようであれば、飲食や小売りの出店は無くそうと考えている。雨
天の場合はイベントを中止する。

5 審査結果

(1) いばりピック実行委員会

480点中264点 ⇒ 不採択案件

(2) レクリエーションデザイン smileinfeel

480点中324点 ⇒ 採択案件

<選考基準>

出席委員の評価点合計の65%以上を取得した事業を、採択案件の候補とする。

ただし、上記基準を上回る事業であっても、個人の総得点の1/2(120点×1/2=60点)

以下の点数を付けた委員がいる場合は、協議のうえ採択候補案件を決定する。

以上